

研究テーマ 単元のゴール(パフォーマンス課題)を明確にした問題解決的な学習を通して、児童が主体的に学習に取り組む指導の工夫
～第4学年 「郷土の発展に尽くす～渋沢栄一とレンガ工場」～

【提案】

深谷市の偉人「渋沢栄一」が2024年から新一万円札の肖像となることが決まった。その後、渋沢栄一が主人公の大河ドラマも放送されたことで、渋沢栄一に興味・関心をもつ日本人が増えている。しかし、本学級の児童に事前調査を行ったところ、渋沢栄一について詳しい知識をもっている児童は多くないことが分かった。

そこで、渋沢栄一関係の施設への現地学習や各種歴史的資料を活用した問題解決的な単元計画を作成し、単元のゴール(パフォーマンス課題)を明確にした授業を展開すれば、児童一人一人が、渋沢栄一が「なぜ新一万円札に選ばれたのか」、「深谷をどのように発展させたのか」について主体的に学習に取り組むであろうと考え、提案する。



【渋沢栄一記念館への現地学習】



【地図アプリを活用した指導】



【資料をヒントに課題解決】

1 実践のポイント

(1) 地域教材を活用し、問題解決的な学習に取り組むことができる単元計画

本単元では、児童の学習意欲をより高めるため、新一万円札の肖像に渋沢栄一が選ばれたという事実から、学習問題を2つ設定した。「なぜ新一万円札に渋沢栄一が選ばれたのだろう」を前半に、「渋沢栄一はなぜレンガ工場を深谷に建てたのだろう。また、それによって深谷の様子はどのように変わっていったのだろう。」を後半に問題解決が図れる単元デザインを考えた。単元のゴールとして、「渋沢栄一が日本の発展に力を尽くしたことや深谷の発展に大きく貢献したことを知り、人々の生活の向上と関連づけ、表現できる」と考えた。単元の終末には、学習内容の評価のためのパフォーマンス課題への取組を設定した。

また、単元が始まる前に富岡製糸場への現地学習、第3・4時間目に渋沢栄一記念館と中の家への現地学習、第7・8時間目にレンガ資料館の方の映像資料の活用を行い、地域教材が問題解決を図るための糸口になるように計画を立てた。

(2) 社会の見方・考え方を効果的に働かせ、学習課題を解決するための資料の精選

本単元は、渋沢栄一が江戸末期から明治に活躍した偉人であるため、過去の資料を読み取ることが4年生の児童には難しい。そこで、資料を児童にとって分かりやすいものに加工して実践を行った。例えば、迅速測図はスキャナー後、注釈や現代の地名との位置関係を明記するなどである。また、「〇〇館の人の話を聞いてメモを取る」といった内容も取り入れることで、当時の状況や渋沢栄一の人物像を理解しやすいように工夫した。

社会的な見方も「位置や空間的な広がり」、「時期や時間的な経過」、「相互関係(社会的事象や様々な人々の)」を毎時間、どの見方をメインとして資料を読み取るか明確にしながら指導を行った。

2 実践の位置付け

(1) 小学校学習指導要領との関連

内容(4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア(イ) 地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。

ウ(イ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

エ(イ) 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること。

本単元は、内容(4)の「県内の伝統や文化、先人の働き」に関する内容で構成した単元である。扱う先人としては、深谷市出身の偉人である「渋沢栄一」を取り上げる。

本実践では、学習問題①の渋沢栄一が新一万円札の肖像に選ばれた背景を理解させるために、渋沢栄一記念館、渋沢栄一の生家である「中の家」、富岡製糸場の見学をしていく。また、学習問題②の深谷市の変化に渋沢栄一がどのように関わったのかを理解させるために、迅速測図や深谷の粘土など各種資料を用意し、児童が資料を手がかりに学習問題の解決を図ることができるようにした。

(2) 実践のポイントの学習の評価との関連

・子供のパフォーマンスを適切に評価する教師の見取り。

本実践においては、毎時間の授業の振り返りをノートに記入させた。「わ・か・つ・ぎ」【わ…分かったこと(知識・技能)】【か…考えたこと(思考・判断・表現)】【つ…次に調べたいこと(態度)】【ぎ…疑問に思ったこと(態度)】のキーワードで振り返りを書くように指導することで、三観点での評価を継続的に行うことができた。また、振り返りで書かれた内容を指導に生かし、児童が考えたことをさらに深めるための発問をしたり、疑問について調べる活動を取り入れたりし、指導と評価の一体化を図ることができるようにした。

さらに、本実践ではパフォーマンス課題を設定し、導入時に提示した。問題解決学習で学習したことを生かして、ペーパーテスト以外でも「思考・判断・表現」の評価を見取ることができるようにした。

また、パフォーマンステストのためのルーブリック評価を導入時に児童に伝え、どのように学習していけば良いのかを児童が見通しをもって学習に取り組めるようにした。

3 実践の内容

(1) 単元の目標と評価規準

渋沢栄一が中心となって建設を進めたレンガ工場に関心をもち、見学・調査、各種資料をもとに調べ、郷土や日本の発展に尽くした渋沢栄一の業績や働きについて理解するとともに、地域の発展を願う気持ちをもつことができるようにする。また、地域の発展に尽くした先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて、先人が当時の地域や人々の生活の向上に貢献したことを考え、表現することができるようにする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①地域の発展に尽くした渋沢栄一を中心とした先人たちは、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。</p> <p>②先人の働きについて、渋沢栄一記念館や中の家などを見学したり、昔と現在のレンガ工場付近の地図や写真などの資料で調べたりして、文章でまとめている。</p>	<p>①渋沢栄一の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。</p> <p>②レンガ工場の建設にかけた渋沢栄一の気持ちを考えるとともに、レンガ工場が地域の発展に果たした役割、人々の生活に与えた影響について考え、適切に表現している。</p>	<p>①渋沢栄一ら先人の働きについて関心をもち、予想や学習計画を立てたり、見直しをしたりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②渋沢栄一ら先人の努力によって発展してきた地域に対する誇りと愛情をもち、地域社会のより良い発展を考えようとしている。</p>




(2) 指導計画と評価計画（12時間）



○内の数字は時間を表す。

< >内は評価の方法を表す。

知：知識・技能 思：思考・判断・表現

態：主体的に学習に取り組む態度

	学習活動・学習内容	評価の観点・内容・方法	資料
つかむ ①	① 渋沢栄一が新一万円札の肖像に選ばれたことを知り、学習問題①をつくる。 ・事前アンケートの結果について話し合う。 →深谷市出身なのに詳しく知らない。 ・渋沢栄一について調べたいことを考える。 ・考えたことをグループで発表し、学習問題をつくる。	態① 渋沢栄一が新一万円札の肖像に選ばれた理由について興味をもち、意欲的に調べようとしている。 <発言・ノート>	・新一万円札の見本 
学習問題①なぜ新一万円札の肖像に渋沢栄一が選ばれたのだろう。		実践のポイント(1)	
<p>パフォーマンス課題</p> <p>深谷市に住むゆうきさんは、群馬県に住むいとこのまきさんから電話がかかってきました。まきさんは、「渋沢栄一が次の一万円札に選ばれたね、出身は深谷市なんだったね。渋沢栄一ってどんなすごいことをした人なの?」と聞いてきました。ゆうきさんは、まきさんにどのように渋沢栄一のことを教えればよいのでしょうか?</p>			
調べる ①	② 渋沢栄一の目指した国づくりについて考える。 ・栄一がヨーロッパで見た日本とは違う文化 ・栄一がヨーロッパの文化に触れ、考えたこと 【見方・考え方】相互関係 西洋諸国を見て回った経験から、西洋諸国のよさを取り入れようとしていたことを捉える。	思② 日本の国づくりに対する渋沢栄一の思いを考えることができる。 <発言・ノート>	・ヨーロッパ渡航前と渡航中の渋沢栄一の服装 ・当時の日本とヨーロッパの食事
	③④ 渋沢栄一記念館などに行き、栄一の功績や生い立ちなどを調べる。 ・渋沢栄一の生い立ち・性格・業績 ・渋沢栄一と尾高淳忠、蕨塚直次郎の関係 →展示物と解説員の方の話から 【見方・考え方】時間 相互関係 渋沢栄一の功績について知るとともに、渋沢栄一に関わってきた人物を捉える。	知② 学習問題に対する自分の考えをもち、必要な資料を収集して調べている。 <しおり>	・年表 ・解説員の方の話をメモできるしおり 
まとめる ①	⑤ 学習問題①の結論を考え、文章にまとめる。 学習問題①の結論 深谷に生まれた渋沢栄一は日本をヨーロッパのような国に発展させるために 500 もの会社の設立にかかわるなど日本のために力をつくしたので、新一万円札に選ばれた。	思② 渋沢栄一がなぜ新一万円札の肖像に選ばれたのかを各種資料をもとに、適切に表現している。 <ノート>	 深谷市のポスター
つかむ ②	⑥ 渋沢栄一とレンガの関係を知り、学習問題②をつくる。 ・渋沢栄一とレンガの関係 ・深谷市にあるレンガ造りの建物	態① 渋沢栄一とレンガ工場の関わりについて、学習問題の予想を考え、意	・東京にある深谷で製造されたレンガを用いた

つ か む ②	<p>・日本レンガ製造株式会社 →地図アプリの活用</p> <p style="text-align: center;">実践のポイント(1)</p> <p>学習問題② 渋沢栄一はなぜレンガ工場を深谷に建てたのだろうか。 また、それによって深谷の様子はどのように変わっていったのだろうか。</p>	<p>欲的に調べようと している。</p> <p style="text-align: right;">〈発言・ノート〉</p>	<p>建物の写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本レンガ製造会社の事務所(現レンガ資料館)の写真
調 べ る ②	<p>⑦ なぜ渋沢栄一は深谷にレンガ工場を建てたのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンガに適した深谷の土地(粘土質) ・レンガを運ぶ利便性 ・工場建設の用地 ・蕪塚直次郎らの努力 <p style="text-align: center;">実践のポイント(2)</p> <p>【見方・考え方】 位置 相互関係 深谷の土壌と人々の願いや思いをレンガ工場建設に関連づけて捉える。</p>	<p>知① 写真や文章資料から工場建設が深谷に決まった理由や渋沢栄一、地元の人々の思いを読み取っている。</p> <p style="text-align: right;">〈発言・ノート・話し合いの様子〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レンガ工場付近の土 ・迅速測図 ・時代別のレンガ工場の様子 ・掘削後の田んぼ
	<p>⑧ レンガ工場ができた前後で、地域の人々の生活はどのように変化したのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンガの売り上げの推移 ・従業員増加に伴う、人口増加 ・レンガ専用鉄道の開通 <p style="text-align: center;">実践のポイント(2)</p> <p>【見方・考え方】 時間 レンガ工場ができる前とできた後での人々の生活の変化について捉える。</p>	<p>思② レンガ工場と地域の発展、生活の向上について、自分の意見を加えながらまとめている。</p> <p style="text-align: right;">〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レンガ工場の従業員数 ・レンガの売り上げの推移 ・レンガ専用鉄道の地図
	<p>⑨ 富岡製糸場と深谷市の関係について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深谷の三偉人(渋沢栄一、尾高惇忠、蕪塚直次郎)の富岡製糸場建設に関わる役割 <p>【見方・考え方】 相互関係 富岡製糸場設立に携わった深谷市の偉人について捉える。</p>	<p>知① 富岡製糸場建設に関わった当時の人々の思いや願いなどを考えることができる。</p> <p style="text-align: right;">〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富岡製糸場パンフレット 
ま と め る ②	<p>⑩ 学習問題②の結論を考え文章でまとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">◇学習問題②の結論 渋沢栄一は、土地の質が良いことや人々のくらしをよりよくするために深谷にレンガ工場を建設した。レンガ工場働く人や、その家族が増え、深谷のまちは発展した。</p>	<p>知② 学習問題の答えについて、既習事項を生かし、文章にまとめている。</p> <p style="text-align: right;">〈ノート〉</p>	 <p>レンガ工場働いていた人々</p>
生 か す	<p>⑪ 深谷市はなぜ、レンガを生かしたまちづくりを続けているのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンガの建物の保存 ・レンガ(レンガ調)の建物の建築 ・市民への広告、PR方法 <p>【見方・考え方】 相互関係 レンガと人々の生活を関連づけ、より良いまちづくりについて捉える。</p>	<p>態② 地域の人々は、普段から地域の発展を願っていることに気づき、自ら地域社会のより良い発展について考えようとしている。</p> <p style="text-align: right;">〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷駅写真 ・深谷市に残るレンガ(レンガ調)の建物 ・深谷市まちづくり条例
	<p>⑫ パフォーマンス課題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容は別欄にて記載 <p>【見方・考え方】 比較・関連付け 既習事項を生かして、課題解決の文章を表現できる。</p> <p style="text-align: center;">実践のポイント(1)</p>	<p>思② 課題に対して必要な資料や事実を選択・判断して、適切な文章で表現している。</p> <p style="text-align: right;">〈パフォーマンス課題〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題ワークシート

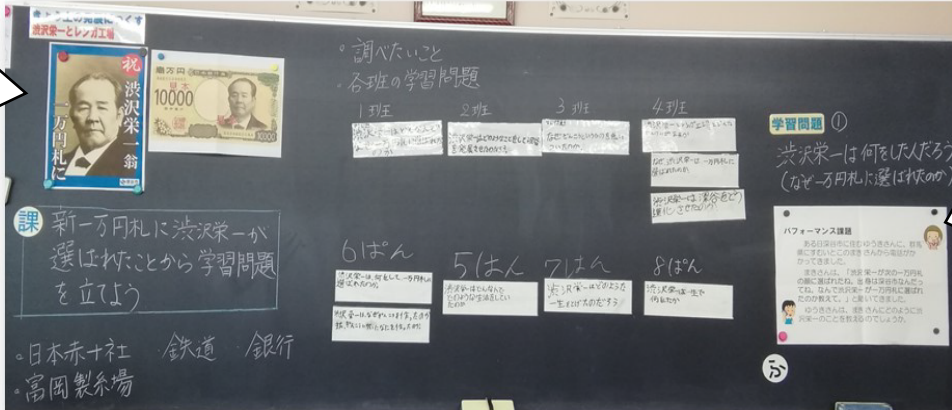
4 実践結果と考察

(1) 地域教材を活用し、問題解決的な学習に取り組むことができる単元計画

<結果>

第1時：新一万円札に渋沢栄一が選ばれたことを知り、学習問題①を立てよう。

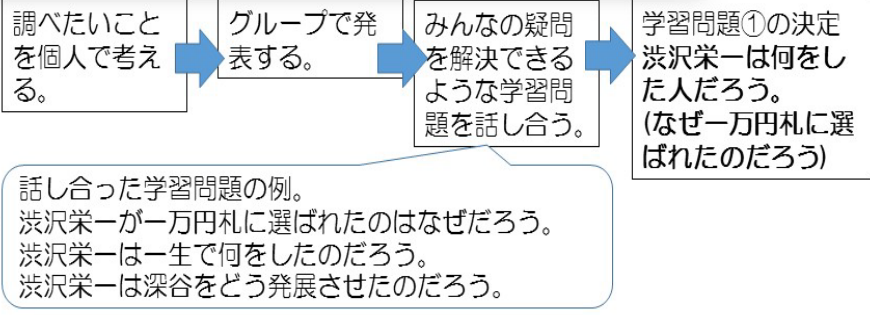
児童が主体的に調べたくなる資料の提示



単元の最後に取り組みパフォーマンス課題

渋沢栄一と聞いてイメージすることは？	
第1位 銀行 10人	
第1位 一万円札 10人	
第3位 やさしい人 7人	
渋沢栄一が一万円札に選ばれた理由は？	
第1位 分からない 14人	
第2位 銀行を作ったから 12人	
第3位 えらい人だから 6人	

渋沢栄一についてよく知らない人が多い。



話し合った学習問題の例。
 渋沢栄一が一万円札に選ばれたのはなぜだろう。
 渋沢栄一は一生で何をしたのだろう。
 渋沢栄一は深谷をどう発展させたのだろう。

児童の作品

パフォーマンス課題
 深谷市に住むゆうきさんは、群馬県にすむいとこのまきさんから電話がかかってきました。まきさんは、「渋沢栄一が次の一万円札に選ばれたね、出身は深谷市なんだってね。渋沢栄一ってどんなすごいことをした人なの？」と聞いてきました。
 ゆうきさんは、まきさんにどのように渋沢栄一のことを教えるのでしょうか？

渋沢栄一は銀行や鉄道株式会社や富岡製糸場などのアイデアを出して、日本を発展させようと思ったんだよ。これは、ヨーロッパに栄一が旅行に行くと日本がヨーロッパに追いつこうとしてやったんだよ。
 関東大震災が起きた時には、臨時病院を作ったりして人々を助けようとしたんだよ。
 さらに、栄一はアメリカの子どもたちと仲よくするために、「日本の人形を交かんしたんだよ、すごいよね。だから一万円さつに選ばれたんだよ。」

- 渋沢栄一の功績① 日本資本主義の発展
- 渋沢栄一の功績の背景
- 渋沢栄一の功績② 社会福祉事業への注力
- 渋沢栄一の功績③ 日米親善への貢献

評価規準	A	B	C
知識・技能に関する項目	渋沢栄一が新一万円札の肖像に選ばれた理由について、日本初の銀行をはじめとする 500 もの会社の設立に関わったことだけでなく、青い目の人形による日米の友好、東京養育院など社会福祉事業の面からも捉え、表現できる。	渋沢栄一が新一万円札の肖像に選ばれた理由について、日本初の銀行をはじめとする 500 もの会社の設立に関わったことなど、日本の資本主義の発展から捉え、表現できる。	書けていない、または書いているが事実ではない。穴埋めのプリントで語句を埋められない。

<考察>

新一万円札の肖像に郷土の偉人「渋沢栄一」が選ばれたというタイムリーな事実から学習問題①を設定したことで、児童が意欲的に学習に取り組むことができた。
 また、単元のゴール(パフォーマンス課題の提示)を明確にすることで、児童が見通しをもって学習に取り組むことができた。

(2) 社会の見方・考え方を効果的に働かせるための資料の精選

〈結果〉

位置や空間的な広がり の見方を働かせるための資料	 <p>レンガ工場周辺の地図</p>	 <p>専用鉄道開通の地図</p>	 <p>深谷のレンガで作った東京駅</p>
時期や時間的な経過の見方を働かせるための資料	 <p>ヨーロッパ渡航前と渡航中の 渋沢栄一の服装</p>	 <p>明治22年</p>	 <p>明治24年</p>
相互関係 (社会的事象や様々な人々)の見方を働かせるための資料	 <p>深谷の三偉人</p> <p>渋沢栄一 尾高淳忠 藤塚直次郎</p>  <p>渋沢栄一記念館を訪れるギュリック三世夫妻</p>	 <p>第34時 課 渋沢栄一記念館 中の家に行き、栄一の功績を生、立ちを調べよう</p> <p>深谷三偉人</p> <p>相関図を教室に掲示</p>	
地域の施設等を生かした資料	 <p>渋沢栄一記念館</p>	 <p>旧渋沢邸「中の家」</p>	 <p>レンガ資料館の人</p>

〈考察〉

毎時間ごとにどの見方・考え方を働かせて、問題解決を図るのかを明確にし、そのための資料を精選することによって、資料を活用して問題解決に取り組む能力が身についた。

5 研究の成果と今後の課題

〈成果〉

- ・郷土の渋沢栄一を教材とすることによって、休日に渋沢栄一記念館やレンガ資料館などに足を運び、主体的に学習問題の解決を図ろうとする児童が育成できた。
- ・豊富な資料を用意し、多面的・多角的に渋沢栄一について調べることを通して、資料活用能力が身についた。

〈課題〉

- ・児童の思考に沿った単元構成の工夫。本実践の学習問題①と②を反転し、「レンガづくりで深谷を発展させた郷土の偉人」から、それだけではなく「近代日本の土台をつくるためにいろいろな働きをしている」という授業づくりにも取り組んでみたい。